

教科書の記述に関する意見交換会にあたって

学校教育において、その最大の目的は“教育を受ける子供たちに対して良好な教育環境を提供し、いかに良質な教育を行うか”ということに尽きると考えます。これは教師と保護者にとって共通の目的であり、法律や指導要領以前の課題です。法律や指導要領とはこの目的を達成するためにこそ存在するものです。また、学校教育における目的を実現するために、教科の指導に当たる教師と保護者は協力し合う事が重要だと考えます。

この度、XXXXXXXXXXの使用している社会科・理科の教科書の記述において、明らかに科学的に誤った記述や説明不足・不適切な記述が多数存在することを確認しました。私は保護者の義務として、教育の質を維持するために、その情報を教師に通知すると同時に、現在どのような指導を行なっているのかを確認するための意見交換の機会を作っていたきたい旨、申し入れを行いました。

この申し入れに対して対応にあたった二人の教頭は、法律や指導要領に従って教科書の内容を生徒に教えることが教師の職務であって、教科書の記述に疑問があるのならば教科書出版社や教科書検定に対して異議を申し立てるようという、およそ現実味のない提案をされました。また、教科書の記述の誤りについて学校は感知しない、教師との意見交換の場を設けることはできないと述べられました。

本来、生徒に対する教育をより良いものにするために協力しあうべき保護者に対して、法律論を持ちだして拒否するという対応は信頼関係を徹底的に破壊するものだと考えます。また、法律や指導要領は、教科書の記述に誤りが存在しないことを前提として原則論をまとめたものであり、教科書に誤った記述があるにもかかわらずそれをそのまま教えることを強制するものではないことは当然であり、誤りを見て見ぬふりをするような対応を正当化するものでもありません。教頭の対応は、目的と手段を取り違え、教育基本法の本質に反した法律や指導要領に対する硬直化した誤った解釈によるものです。

二人の教頭の対応は、保護者は教科の内容に口を挟むなどと言わんばかりの傲慢・慇懃無礼なものでした。彼らにとって煩わしい意見交換の場を設けることを拒否することを目的として、その行為を正当化するために密室において無理な法律論を持ちだして利用したのだと考えています。なぜなら、この問題を PTA の会合の公開の場で話し合いたい旨を伝えると、掌を返したように意見交換の場を設定することに同意したからです。これは彼らの主張が一般的な社会通念に受け入れられないものであるという自覚があったからにほかならないと考えています。残念ながら、この論理的な一貫性の欠如した二人の教頭の場合、場当たりの対応によって、ますます学校に対する不信感は増大しています。

私は、学校・教育現場において教育内容に対して第一義的に責任を持つべき教師こそ教科の内容について日常的に積極的に情報を収集し、検証を行う義務があると考えます。また保護者もこれに協力することが義務であると考えます。教師は情報提供があれば積極的に聴取し、必要であれば授業に還元すべきものと考えます。また、提供された情報によって教科書の記述に重大な誤りが確認された場合には、教師あるいは学校が率先して教科書

出版社や教科書検定に問題提起すべきものと考えます。

情報提供の申し出があるにもかかわらずこれに耳を塞ぎ、問題があるなら勝手に教科書出版社や教科書検定に意義を申し立てるように、などという無責任な発言するような者は教師として失格であり、即刻辞職していただきたいと願うものです。教育基本法を今一度、確認していただきたいと思います。

(教育の目的)

第一条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

(教育の目標)

第二条 教育は、その目的を実現するため、**学問の自由を尊重**しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と教養を身に付け、**真理を求める**態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

三 **正義と責任**、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

二人の教頭の行動は教育基本法に照らして、正に恥ずべき行為だと考えます。彼らのとった行動は、事なかれ主義、保身のための行動であって、大津市における陰惨ないじめ・自殺事件において、いじめがあつたにもかかわらずこれを隠蔽しようとした中学校や教育委員会と本質的に同じ構造が、XXXXXXXXXXにもあると痛感しています。

生徒の保護者として願わくは、本日参加された教師各位におかれましては、学校教育本来の目的を忘れ、体面を繕い、上ばかりを向いている愚かな学校管理職の顔色をうかがうのではなく、常に生徒に向き合う真の教師であっていただきたいと衷心よりお願いしたいと考えます。

以 上

2012年11月7日

ホームページ「『環境問題』を考える」

管理者 近藤邦明

URL <http://www.env01.net/index02.htm>

XXXXXXXXXX